

祭りの季節が過ぎ去り、朝晩の冷気に冬の到来を感じる季節となりました。秋の夜長を読書に、音楽に、仲間との集いに、皆さん思いおもしろくお過ごしのこととされます。年末のあわただしさにはまだ幾分、間があるこの時期だからこそ、じっくりと何かに集中して取り組む絶好の機会と言えるでしょう。

このニュースレターは、新しいユニークな試み・耳寄りの情報を、学校や地域でワークショップを实践している方々にお届けしています。

TIA国際理解教育事業

1 夏期集中テーマ別小学校わくわく英語セミナー開催報告

TIAでは、学校や地域で児童英語教育に携わっている人々を対象に国際理解教育の視点から学ぶ『小学校テーマ別わくわく英語セミナー』を8月6日・7日の両日に開催しました。6日はビギナー編として『人の五感』をテーマにセルフエスティームに関する授業展開例を、7日はステップアップ編として『大韓民国』を取り上げ、異文化理解に関するワークショップを行いました。いずれも講義と模擬授業を組み合わせ、参加者自身が子どもの立場から授業を体験するという試みがなされたのが大きな特徴です。今回はこの講座を簡単に振り返ります。



8月6日(土)午後2時～5時『人の五感～セルフエスティームを中心に』
初めてこの種のセミナーに参加した方と「なぜ国際理解教育なのか」、「なぜ英語でそれを行うのか」などを共有した上で、see/hear/touch/smell/feelの五感を表す単語を「私」を主語にして色々な場面で使い、個々の五感を尊重した授業を実体験。ペアワークやグループワークを行った後、参加者が携わっている英語教育の現場での課題や問題点を発表し合い、現場での様子を中心とした情報交換をして終了。

8月7日(日)午後2時～5時『異文化理解～大韓民国を知ろう』

02年から継続しているこのセミナーのリピーターを対象としたステップアップ編。過去にセミナーを受講し、自らも既に学校現場等で実践していることを前提に、まずは韓国をテーマにして歴史や文化・日本との関わりを再認識する模擬授業を全員で体験。その後、グループワークで授業プランを作成。グループ内の協議を経て、発表しテーマ別で英語を学ぶ様々なプランが参加者の中で共有された。



いずれの回も今回も前回に引き続き、BeLL Works主宰の町田淳子さんに講師を務めていただきました!

2 ユニセフビデオ貸出



TIAでは、財団法人日本ユニセフ協会(以下、ユニセフとする)が制作したビデオを広く地域の教育関係者に対して貸し出す業務を行っています。

愛知県のみならず、岐阜県や長野県など遠方からの問合せにも郵送で応じ、多くの方にご利用いただいています。しかしながら、近年では総合学習の実施の関係もあり、秋や年度末の時期に集中して利用希望が重なり、毎週のように複数のビデオがリクエスト状態になっているのが現状です。

東海地域では、静岡県国際交流協会・名古屋国際センターとTIAがユニセフビデオを有していますが、限られた本数では、多くの利用者の声に応えることはできません。ユニセフビデオのご利用はなるべくお早めに計画を立て、ご相談ください。

より確実により効果的に役立ていただき、一人でも多くの先生方や子どもたちに国際理解の一助としてユニセフビデオを貸出したいと考えております。

後期の授業計画が決まったら、TIAもしくは、ユニセフの本部まで早急にご連絡を!

(財)日本ユニセフ協会

03-5471-7091 <http://www.unicef.or.jp>



3 新着図書を紹介



『おかいもの ちょっと考えてみて
フェア・トレードの絵本』
(グローバル・ヴィレッジ)

この絵本の作者は、横浜で生まれ、現在東京で暮らすジェローム・ミニー君、7歳。作者紹介欄によると、フェア・トレード事業に従事する母親とインドネシアを訪れた時に、同年代の貧困に苦しむ子どもの姿を見たことがきっかけとなり、現地の子どもたちがどうすれば学校に行けるようになるのか、どうすれば不公正な社会を少しでも変えていけるのかを真剣に考えて、自分の言葉で物語を綴ってきたのがこの絵本。

原文は英語。作者ジェローム君の、シンプルながら率直な想いが綴られている。訳者の杉山氏により、柔らかで子どもの感性を活かした日本語の平明な文章もいい。

絵本は、子どもだけのものではない。それどころか、大人になった今だからこそ、胸打つ言葉や表現と出会うこともできる。7歳の鋭い感性に出会い、立ち止まって自分のライフスタイルを今一度問いたくなる一冊。注文は直接グローバル・ヴィレッジに。

Eメールアドレス: gv@globalvillage.or.jp

これからのセミナー案内

豊田中央図書館・TIA協働事業 『世界がもし100人の村だったら...05年版』

国連で採択された『持続可能な開発のための教育(ESD=Education for Sustainable Development)の10年』が、本年より始まりました。この持続可能な開発を遂行していくには、他人任せにせず、私たち一人ひとりが自ら学び、他者と学びあい、様々な課題を共に解決していくことのできる力を持つことと、そうした学びの機会が多様にあることが大切と考えています。

豊田市国際交流協会TIAでは、上記のタイトルでセミナーを開催し、広く学びあいの場を提供します。クリスマスや年末年始のシーズン。このセミナーで感じたことを近い人々へのカードに綴る時間も設ける予定です。お友達やご同僚・親子で是非ご参加下さい!

日 時 : 2005年12月3日(土) 午後1時30分~午後4時30分

場 所 : 豊田中央図書館6階多目的ホール

講 師 : 平野木恵さん(西三河国際理解教育情報センター主宰)

参加費 : 1000円(グリーティングカード代も含む)

